

第2回南砺市総合計画審議会

令和元年10月2日（水）
14：00～
南砺市福野庁舎2階講堂

次 第

1 開会

2 市長あいさつ

3 議事

- ・ ビジョン素案にかかるパブリックコメント等の結果について…資料1
- ・ 第2次南砺市総合計画 ビジョン案について……………資料2
- ・ 第2次南砺市総合計画の構成（素案）について……………資料3

4 意見交換

5 次回の審議会日程について
12月中旬

6 閉会

第2次南砺市総合計画 ビジョン(素案)への意見と回答

資料 1

●第2次南砺市総合計画 ビジョン(素案)へのパブリックコメント一覧表

通し 番号	受付 番号	分類	意見(簡潔にまとめ)	回答
1	1	パブリックコメント	第2次南砺市総合計画の「将来都市像」「将来人口」「基本目標」を同時に示し、改めてパブリックコメントを実施すべき。	令和2年1月前後に2回目のパブリックコメントを予定しています。
2	1	パブリックコメント	今回のパブリックコメントでは、第1次南砺市総合計画の実績や結果を示した資料であったり、現状の南砺市を示す具体的な数値の裏付けや基本的な南砺市の考え方、参考とすべき上位の計画といった、将来像を考える上での前提条件が見あたらない。 市民に対して根拠なき机上の空論(素案)のアイデアを公募しているように感じます。	第2次南砺市総合計画は、まずゴール(将来像)を定め、それを実現するために行政はどのようなことに取り組むべきか、という手順で検討する事としております。どのように実現するかを検討する際には具体的な数値に基づく事としておりますが、今回のパブリックコメントは「将来どんなまちに住んでいきたいか」というゴールについて、意見を募るものです。
3	1	将来人口	目指すべきまちの姿は3万人都市を想定して示されたものか。	お見込みの通り、平成27年に策定した南砺市人口ビジョンにおける2060年人口目標30,000人は変えていません。
4	1	第1次総合計画	第1次総合計画で目指した「平成28年に56,000人」を大きく下回った人口減少問題について、深刻に受け止めるべきではないだろうか。実績を基にして、過去に成果が出たので継続していきたいこと、成果がでなかったことや、生じている問題があるからこそ、課題解決に向けて総合計画の方針が決まるものではないのか。その方針が将来像につながるものではないのか。	第1次総合計画は行政の取り組みを網羅することを第1に策定されていた頃の計画であり、人口目標と基本目標や基本方針、施策の柱といった段階ごとの論理的な繋がりは求められていませんでした。また成果指標を定めていましたが、それらと人口との関連性についても求められていなかったことから、総合計画を進める事と人口との関係は密接なものではありませんでした。 このような実績をふまえ、今回は「第2次南砺市総合計画の策定の進め方(方針)について」を定め、策定に取り組んでいるところです。
5	1	将来像	本文16行目に、「本市の目標とするのは、「育ちたい」「住みたい」「つながりたい」場所として選ばれ」とあるが、誰に選ばれたいのか。対象が分からない。約6,500人増のターゲット層を詳細に教えてほしい。	該当の部分は、「選ばれ」るまちを目標として掲げることであり、対象をしいて言えば「ひと」になります。

通し 番号	受付 番号	分類	意見(簡潔にまとめ)	回答案
6	2	将来像	世界遺産の五箇山合掌集落に加えてユネスコ無形遺産の城端曳山祭、日本遺産の井波彫刻は具体的に列挙し、内外にアピールしていく姿勢を見せるのが良いのではないのでしょうか。	ご意見の通り、南砺市には世界に誇る文化や日本を代表する文化が多くあり、お示しいただいた他にも演劇や「こきりこ」「麦や」「夜高」など各地域にそれぞれのかげがえのない財産があります。この将来像においては、その1つの例示として、認定されてからの時間も長く、内外によく知られている世界文化遺産を記載しているものです。
7	2	目指すべきまちの姿	「まち」はどこかにあるものでも誰かがつくってくれるものでもなく、今そこに生きている私たちと、これから生まれ、育ってくる未来の市民が創っていくものです。したがって、「目指すべきまちの姿」についても、「まち」に焦点を当てるだけでなく、望ましい市民像や育てたい人材像に言及した記述を入れてみてはいかがでしょうか。	「まち」は市民が創るもの、ということについてはその通りかと思えます。ここでは「まち」を、そこに住む「ひと」やその営みをも含めた全体と考えておりますので、その「目指すまち」を実現するためのやるべきこととして、ご意見いただいた市民像や人材像を含めるよう検討していきます。

●第1回総合計画審議会以降に寄せられた審議会委員からの意見

通し 番号	受付 番号	分類	意見(簡潔にまとめ)	回答案
8	1	キャッチフレーズ	SDGs未来都市に認定された、そのことを新しいキャッチフレーズに盛り込んで欲しい。 例)「誰一人取り残さない」「継続する地域社会」	ご意見の通り、SDGsが掲げるゴールは世界共通の普遍性のあるものですので、全く同じ文言とはならないかもしれませんが、その方向性を踏まえ、キャッチコピーや将来像に盛り込んでいきます。
9	1	将来像	「住みやすい」「暮らしたい」⇒これまで言い尽くしてきたこと。 これからの10年⇒SDGs未来都市(の考え方)に向かうことではないか。 これまでは準備段階。病気は病院で治療。心は在宅で、地域で癒す。 小規模多機能、エコビレッジ、地域包括ケア⇒実践してきている この実践が評価されて、SDGs未来都市認定のはず。 地域全体でみまもる、誰一人取り残さない、実現するための努力はまだ足りない、これから10年でやっていくべきこと。	将来像の素案は、南砺市が持続可能な発展をこれから10年20年と続けていくことを意識し、市民会議における検討を踏まえまとめたものであり、SDGsの考えに沿うものと考えております。なお、「地域全体でみまもる、誰一人取り残さない」点については、現在の素案における目指すまちの姿②「誰もが地域に居場所があり、お互いに認め合える多様性のあるまち」において、やるべきことを具体化していきます。

●第1回総合計画審議会における審議会委員からの意見(主なもの)

通し 番号	受付 番号	分類	意見(簡潔にまとめ)	回答案
10	1	第1次総合計画	第1次計画の評価はどのようになされたのか、また第2次計画にどう反映したのか。	ご意見の第1次計画については、総合戦略も含め、現在、計画の期間中ですが、9月末で成果をとりまとめ、外部評価を経て、現在策定している行政計画へ反映させます。なお、評価結果がまとまり次第、資料を提供させていただきます。
11	4	第1次総合計画	前回の計画においてどのような問題があったのかを把握することが必要である。第1次計画の課題などについて、ちゃんと説明してもらいたい。	
12	15	将来像	将来像は英語で言うと「イメージ(像)」であり、それぞれの委員が持っているイメージが結びやすい表現となることが大事。	ご意見の通り、イメージが結びやすい表現となるよう努めます。
13	2	将来像	現在、かなりの部分で崩壊しつつある地域コミュニティをどうしていくのか。地域の得意分野や、70歳になっても頑張ってもらいたいなど、かつてのつながりを取り戻すようなニュアンスを、現状などでしっかり押さえるべき。今は年寄りが孤立化しつつある。それによろやく気付いて運動を始めつつあるが、そのようなことをどのように表現していくのか、真剣に議論していかなければならない。	従来の基本構想に相当する「まちづくりビジョン」の中で項目を立てて、ご意見のような現状や危機感などを盛り込むこととします。
14	5	将来像	農業についても、今後10年で後継者がいなくなるなど、現在できていることも、この先できなくなると思われる。「しかしながら…」の中に、今までであった姿が全く変わってしまうのではないかという危機を表現してもらいたい。	
15	8	将来像	「住んでいてよかった」「生まれてきてよかった」などの表現は、裏を返すと現状はそうではないのだとすれば、なぜそうなっているのかを振り返るべき。	
27	7	目指すべきまちの姿	人口減少が南砺市では最も重要であり、盛り込んでいただければ。	

通し 番号	受付 番号	分類	意見(簡潔にまとめ)	回答案
16	2	将来像	覚悟を持って取り組まなければならない。団塊の世代はあと10年で80年代となるが、そのとき誰が世話をするのか。今から風景は一変してしまう。子どもには「良い大学に行って世界にはばたけ」、と言ってきた時代もあったが、本当の意味で、真剣に具体論を議論しないといけないと心配している。	<p>ご意見の通り、これからの10年間は覚悟を持って取り組むきわめて大切な時期です。第2次総合計画は「計画策定に向けての基本的な考え方」に基づき、より実効性の高い計画とするため、目標につながる効果的な施策や事業に特化した計画とします。また確実に推進するための評価検証も実施していきます。</p> <p>ご意見の通り、住んでいる人たちに素晴らしいと思ってもらえることや子ども達にもわかってもらうこと、商工業や散居景観など「ふるさとの景色」を守ることなど、どれも大変重要なことであると考えております。市としてもそのことに取り組む事を強くメッセージとして発信するため、目指すまちの姿を実現するための目標ややるべきことを具体化する中で盛り込んでいきます。</p>
17	3	将来像	3段落目に記載のある「しかしながら…」は、他所からみて評価されることに重きがあるように感じる。「自分達の住む地域が素晴らしい」と、本当に地元が思っているのか。住んでいる人たちに素晴らしいと思ってもらえることが必要であり、埋もれている財産を自ら掘り起こし、共有していくことが重要と考える。住んでいる人達がもっともっと、ここは良いところなんだと、貴重なんだと気づいてもらいたいという旨を、一行挟んでみるとよいのではないかと。	
18	5	将来像	散居村についても、どんどん木が切られており、資料の前段の部分は10年前の姿だったかもしれないが、今、現実になくなってしまいう可能性がある。私は一人暮らしの中で頑張っているが、この生活を何年続けられるのだろうかと思いつながりながら生活している。「これからの10年間は極めて大切…」との表現は、確かにその通りであるが、現在の表現では覚悟が見えない。	
19	6	将来像	豊かな自然の地域であるということが文面の大半を占めているが、町中の人間にはピンとこない、商工業についての表現があってもよいのではないかと。	
20	10	将来像	子ども達は南砺市の良さを知らず都会に魅力を感じているので、もっと南砺市のすばらしさを教育現場で教えるべきだが、徹底は難しい中、しっかりと帰ってきてもらえるよう、「市民が選ぶ、子どもが選ぶんだ」ということを強調してもらいたい。	
21	13	将来像	10年後の社会づくりを想定するのは難しい時代となっており、例えば「心豊かな暮らし」はどういったものなのか、子ども達へどうやったら分かってもらえるのか考えていかなければならない。	

通し 番号	受付 番号	分類	意見(簡潔にまとめ)	回答案
22	9	将来像	子育てをしている家族をしっかりと、精神的にも支える仕組みづくりをお願いしたい。地域の中で、活動できるようなものを目指していければよい。	ご意見については、現在の素案における目指すまちの姿を実現するための目標ややるべきことを具体化 する中で盛り込んでいきます。
23	9	将来像	人づくりや子育てができる内容を盛り込んでもらいたい。子育て層の意見もしっかり聞いて欲しい。	
24	12	将来像	これからは仕事と家庭と地域社会の両立ができるような生活となることが時代の流れであり、それを実現するために盛り込んでほしい。	
25	11	将来像	南砺市は良いものが多いが、地域愛や郷土愛などが一番大事なので盛り込むべき。	
26	14	将来像	項目ごとに全て課題を出すとき限がないので、家庭教育、郷土愛のほかに土徳、商業、農業などキーワードに基づいて整理してもらいたい。	ご意見については、目標ややるべきことを具体化する 中で、それぞれの課題を整理していきます。

第2次南砺市総合計画 ビジョン（案）

資料2

修正後（案）

修正前（素案）

（1）目指す将来像

（1）目指す将来像

案1:「一流の田舎」を目指して～小さな世界文化都市 南砺の挑戦～
案2:美しい自然の中に市民がデザインする誇りあふれるまちへ
案3:自然、歴史、文化が織りなす「一流の田舎」南砺～誰もが暮らし続けられるまちへ～

例1:南砺の「ふつつ」は、世界の憧れ。(幸せを未来へつなぐ南砺の挑戦)
例2:「一流の田舎」を目指して(小さな世界文化都市 南砺の挑戦)
例3:ふるさとに愛着を持ち、幸せを未来につなぐ南砺市

田園が湖面のようにきらめく春、熱い鼓動に包まれる夏、実りと哀愁の調べが彩る秋、一面の雪景色にも温もりが感じられる冬と、南砺の里山では、四季を通じて人と自然が調和し、ゆったりとした時間が流れています。

田園が湖面のようにきらめく春、熱い鼓動に包まれる夏、実りと哀愁の調べが彩る秋、一面の雪景色にも温もりが感じられる冬と、南砺の里山では、四季を通じて人と自然が調和し、ゆったりとした時間が流れています。

わたしたちの南砺市は、豊かな自然に抱かれ、自然の恵をいただき、人と自然に感謝する心やお互い様の気質といった独自の精神や風土の中で、世界が認める合掌造り集落をはじめ、散居景観や伝統芸能、祭、食、ものづくり産業など、かけがえのない財産を数多く育む、小さくとも世界に誇れるまちです。ここに暮らす人々は、奥ゆかしく、温かみがあり、忍耐強く、何事にも意欲に富んでおり、南砺の地は、人を育む力にあふれています。このまちと土地から生まれる心豊かな暮らしは、未来へつないでいくべき私たちの財産です。

わたしたちの南砺市は、豊かな自然に抱かれ、自然の恵をいただき、人と自然に感謝する心やお互い様の気質といった独自の精神や風土の中で、世界が認める合掌造り集落をはじめ、散居景観や伝統芸能、祭、食、ものづくり産業など、かけがえのない財産を数多く育む、小さくとも世界に誇れるまちです。ここに暮らす人々は、奥ゆかしく、温かみがあり、忍耐強く、何事にも意欲に富んでおり、南砺の地は、人を育む力にあふれています。このまちと土地から生まれる心豊かな暮らしは、未来へつないでいくべき私たちの財産です。

しかしながら、これからの時代、情報通信や人工知能（AI）、ロボットなどの技術進歩により、働き方や生き方、価値観などは大きく変わろうとしています。また、自然との共生や環境への意識が高まる中で、人と人、人と自然の関係を見つめ直し、地域資源を最大限活用した循環型社会を構築する重要性は増すばかりです。今の暮らしを少し快適にしたい、場所を選ばず仕事がしたい、住むところを自分のスタイルで選びたいといった、人それぞれが求める多様な幸せのカタチを実現できる社会が近づいています。このような社会の流れの中で本市が目標とするのは、「育ちたい」「住みたい」「つながりたい」場所として選ばれ、住む人々が多様な価値観を互いに認め合い、それぞれの幸せを感じ、「生まれてきてよかった」「住んでいてよかった」「これからも住み続けたい」と思えるまちです。

しかしながら、これからの時代、情報通信や人工知能（AI）、ロボットなどの技術進歩により、働き方や生き方、価値観などは大きく変わろうとしています。また、自然との共生や環境への意識が高まる中で、人と人、人と自然の関係を見つめ直し、地域資源を最大限活用した循環型社会を構築する重要性は増すばかりです。今の暮らしを少し快適にしたい、場所を選ばず仕事がしたい、住むところを自分のスタイルで選びたいといった、人それぞれが求める多様な幸せのカタチを実現できる社会が近づいています。このような社会の流れの中で本市が目標とするのは、「育ちたい」「住みたい」「つながりたい」場所として選ばれ、住む人々が多様な価値観を互いに認め合い、それぞれの幸せを感じ、「生まれてきてよかった」「住んでいてよかった」「これからも住み続けたい」と思えるまちです。

このように、私たちが掲げる将来の姿に向かって、これからの10年間は、覚悟をもって取り組む極めて大切な時期です。自然や伝統、文化といった世界に誇れる財産を活かし、今なすべきことを自分ごととして取り組むことで、誰一人取り残さない、お互いに認め合える、未来に希望がもてる、心豊かな暮らしが実現できる「一流の田舎」を目指します。

このように、私たちが掲げる将来の姿に向かって、これからの10年間は、覚悟をもって取り組む極めて大切な時期です。自然や伝統、文化といった世界に誇れる財産を活かし、今なすべきことを自分ごととして取り組むことで、人が育ち、人が集まり、未来に希望がもてる、お互いに認め合える、心豊かな暮らしが実現できる「一流の田舎」を目指します。

（2）目指すべきまちの姿

（2）目指すべきまちの姿

- ① 人が育ち、人が集まり、未来に希望がもてるまち
- ② 誰もがお互いに認め合い、多様な幸せを実感できるまち
- ③ 求めるライフスタイルに合わせた、心豊かな暮らしができるまち
- ④ まちづくりを自分ごととし、皆で考え、皆で共に行動するまち

- ① 人が育ち、人が集まり、未来に希望がもてるまち
- ② 誰もが地域に居場所があり、お互いに認め合える多様性のあるまち
- ③ 求めるライフスタイルに合わせた、心豊かな暮らしができるまち
- ④ まちづくりを自分ごととし、皆で考え、皆で共に行動するまち

第2次南砺市総合計画の構成(素案)

資料 3

ビジョン

行政計画

目指すべきまちの姿

(方針)

やるべきこと(政策)

やるべきこと(施策)

南砺市が目指す将来像(キャッチコピー)

人口
財政
SDGs
まちづくり
基本条例
各種計画

①人が育ち、人が集まり、
未来に希望がもてるまち

- 子育て
- 教育
- 成長
- 学び

目標 年少人口の増加

指標 「出生数」
「子育て世代の転入数」
「教育環境」

②誰もがお互いに認め合い、
多様な幸せを実感できるまち

- 地域包括ケア
- 地域活動
- 多様性
- ジェンダーギャップ

目標 幸福度の向上

指標 「健康寿命」
「多様な地域とのつながり」
「ワークライフバランス」

③求めるライフスタイルに
合わせた、心豊かな暮らしが
できるまち

- エコビレッジ
- 交通
- しごと
- 働き方
- 移住・定住

目標 社会増減の均衡

指標 「UIターン数」
「域内消費」
「平均所得」

④まちづくりを自分ごととし、
皆で考え、
皆で共に行動するまち

- まちづくり
- 情報公開・発信
- 誇り

目標 シビックプライド
の醸成

指標 「誇り」
「まちづくりへの参加」
「まちづくりの実感」

結婚・出会いの場の創出

若者同士の交流促進
働き方改革

出産・子育て支援

子育て世代の住環境整備
イクメン、イクボスの推進
働きながら子育てしやすい環境整備

未来に夢と希望を持てる
教育環境の充実

特色ある学校選択制
課外活動の充実、広域化
山村留学の受け入れ

誰もが心身ともに健康で
生活できる社会

地域での介護予防の充実
検診の受診推進
運動習慣の醸成

多様性を認める社会の構築

楽しい地域活動の推進
地域の頼れる人の育成、活用

仕事や生活への充実感を
感じられる社会

ワークライフバランスの向上促進
働き方改革(再掲)
様々なコミュニティ活動の支援

若者が住みたくなる
魅力づくり

若者の希望にあう職の充実
若者が集う場の創出
関係人口の拡大

誰もが暮らしを楽しめる
生活環境の充実

買い物等の利便性向上
公共交通の利便性向上

地域の活力を支える
産業の発展

既存産業の生産性向上
起業家、クリエイターの育成
モノ、サービスの高付加価値化

南砺の暮らしへの
誇り・愛着の醸成

伝統文化の継承
ふるさと景観の保全
ふるさと教育の推進
他地域と比較した南砺の見える化

みんなが参加したくなる
まちづくり

情報共有のプラットフォーム形成
PPP・PFIの推進

市民がまちをつくる
実感の醸成

小規模多機能自治の推進
課題解決のプラットフォーム形成

第2次南砺市総合計画の体系

